



### 消防記念日 表彰

京都市消防局長表彰

桂坂学区自主防災会

つばき自主防災部

西京消防署長表彰

さくら自主防災部

自主防災活動推進功労者

細谷 修三氏

3月7日は、消防記念日です。この日、桂坂学区の自主防火・防災活動に功労功績のあつた上記の三団体と、功労者のお一人が表彰されました。

## 防犯・交通安全の教室に参加して

防犯推進委員

2月22日、桂坂小学校で「防犯」と「交通安全」の各教室が開催されました。防犯教室では鍵、窓ガラスの専門家より、それぞれ「空き巣対策」をテーマに話を聞き、交通安全教室では、「教育車」での運転技能診断を体験しました。

どろぼう経験者の話では泥棒が嫌がるのは、「光・音・時間」だそうです。夜間、近づいたらセンサーが働いて電灯がつく、家の回りは芝生ではなく砂利が敷かれ歩くと音がする、犬が吠える、家に侵入するのに時間がかかるなど、家自体の対策も必要ですし、

20040407  
[03・08]  
総 100号  
発行 桂坂  
自治連合会  
広報編集部

ことです。

一戸建住宅に多いのが、窓ガラスを壊して侵入する手口です。

普通のガラスだけでは不十分です。対策の一つとしては、割れにくいガラス、「防犯合わせガラス」があります。二枚のガラスの間に特殊フィルムやシートが挟んであり、ヒビが入っても割れにくいので侵入するのに時間がかかります。ガラスに金網の入ったワイヤーガラスは、防火対策仕様のものです、防犯力はありません。

当日、実際にワイヤーガラスと防犯ガラスを金槌で割る体験をしました。ワイヤーガラスは一撃でガラスが粉々に砕け、すぐに穴があきました。防犯ガラスは、一、二撃ではヒビが入る程度で、その後たたいても、たたいた方のガラスがボロボロ落ちるだけで穴はあきませんでした。手が入る程の穴をあけるには一〇分位かかるそうです。もちろん窓にも鍵を二つつけた方がいいですね。

大枝交番管内の犯罪状況を見ても、発生件数は、平成15年は平成14年より三、四割、増えています。自分の家は自分で守るだけでなく、地域ぐるみで防犯対策を考えていきましょう。交通安全教室では、教育

車に乗って、運転時、咄嗟に、的確に判断できるかどうかを試しました。右折時の死角に入った二輪車に対する注意、一時停止の仕方、左折時の歩行者の横断に対する注意などをコンピュータが採点して、AとEのランクで表し、注点を指摘してくれました。中には接触事故・人身事故を引き起こして天を仰ぐ人もおられました。

困った時は  
何でもご相談を  
京都市在宅介護  
支援センター  
支店 小山西子

最近では交通事故で亡くなる高齢者の方が増加しています。六十五歳以上は、全人口の18%しか占めていないにもかかわらず、交通事故死者数の36.8%を占めています。車の運転者だけでなく、歩行者、自転車に乗る人も

昨年の暮れ、京都市在宅介護支援センター「杏林」の各自治会の役員の方々の協力を得て各ご家庭に配布させていただきました。役員の皆様にはこの紙面をお借りして御礼申し上げます。

京都市の在宅介護支援センターは、皆様の身近なところで、いつでも高齢者の福祉・介護に関する相談に応じられるよう二十四時間対応の病院や福祉施設に併設された公的な機関です。各中学校区に一つ設置され京都市より委託を受けて運営されております。

自分の人生、出来れば人の手を煩わさずに元気で長生きし、平穩に一生を終えられたらこの上ない幸せかと思いますが、現実には難しいものがあります。迫り来る高齢化社会に、国は高齢者の介護予防やリハビリ等の強化策を打ち出

いた「措置」から、利用者との「契約」へと変わり、利便性も伴ってこの「サービス」の利用者も年々増加しています。自分のお手伝いもさせていただいておられます。どうぞお気軽に、介護などのご相談にあわせて当支援センターをご利用くださいませ。京都市在宅介護支援センター 杏林 33117387

犯罪・火災の発生状況 防犯と防火——これは私たちが「安全・安心のまち桂坂」を築き上げていくうえで、常に心がけなければならないことです。この度、桂警察署の「犯罪の発生状況」、また、西京消防署の「火災・救急事故の発生状況」に関する資料を入手したのでお知らせします。いずれも平成15年のデータです。

交通ルール、マナーを守ることをご家族で話し合われるのもいいと思います。ルールを守り、無理をしない、ゆとりをもった交通行動で、楽しい毎日を送りたいですね。

平成15年 桂警察署・大枝交番管内 犯罪発生件数

	桂警察署管内		大枝交番管内	
	認知	検挙	15年	増減
凶悪犯	6	4	0	-2
強制わいせつ	9	4	0	+0
粗暴犯	106	66	17	+14
窃盗	2508	367	215	+28
侵入盗	227	101	19	-10
ひったくり	83	12	2	+1
自動車盗	70	3	7	-1
その他	2128	251	187	+38
知能犯・風俗犯	44	12	1	+0
その他	489	117	41	+31
合計	3162	570	274	+71

学区別 火災件数

学区別	15年	増減
桂坂	3	+3
大枝	0	-2
新林	0	+0
福西	0	-1
竹の里	0	+0
大原野	3	+1
境谷	0	-1
区内計	21	-2

区内事故種別別急件数

	15年	増減
急病	2871	+346
交通	926	-60
一般	639	+62
転院	116	-20
加害	47	+4
その他	197	-19
区内計	4796	313

## 楽しみです 夏のホタル観賞会

桂坂保育所の子たち 幼虫を放流



去る3月9日、桂坂野鳥遊園のホタルの小川に、桂坂保育所の子どもたちの手で、ホタルの幼虫が放流されました。

放流の当日、桂坂保育所の年長クラスの子どもたちは、園内のホタル飼育所で飼育の話を聞き、小さな手で幼虫に触れるなど、日常生活では体験できないことを体験。その後、子どもたちは、6月のホタルの乱舞を思い描きながら放流。

桂坂野鳥遊園では、ご存知のとおり、二年前からホタル観賞会が開催され、6月初旬には私たちは、ホタルの舞う幽玄なひとときを過ごすことができます。昨年の7月から野鳥遊園では本格的なホタルの飼育に着手、1ミリの程度の初齢幼虫が五〇〇匹、順調に育つて、この3月には大きいものでは3センチくらいに成長、放流の時期を迎え

ておりました。この間に寄せられた学区の皆様のおかげで、ご支援とご協力に心より感謝いたします。ご多忙の時間を割いて編集会議や、記事の作成、印刷など煩わしい作業を厭わずご協力いただいた編集委員の方々、また、広報をいち早く各戸に配布していただいた各自治会の班長の皆様にも厚く御礼申し上げます。

今後とも桂坂学区の発展に寄与できるよう努めたいと思っております。ご協力・ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

### 編集委員会より御礼

今号は、桂坂自治連合会の発足の年に発行された創刊号(A4版)より数えてちょうど一〇〇号になりました。

湯浅忍前会長の時には松尾隆夫氏はじめ菊池現会長らが、そして菊池会長になり広報の名を『桂坂』と変えてからも約一三〇名がこの広報の編集に携わって来ました。

15周年を迎えた「桂坂体振」

記念式典盛大に

2月22日 於ダイヤモンドホール

2月22日、桂坂学区体育振興会の創立15周年を祝う記念式典が、エミナースのダイヤモンドホールで盛大に挙行されました。

第一部の記念講演は、バ

イマージン・女子史の「天に一番近い大地 チベットからのお話」。ことばや食生活の違いにぶつかっての大きなとまどいなどが達者な日本語で語られました。

京都芸大の音楽学部に留学されていただけあって、歌姫のメリハリのある巧みな話術でしばし二国間を往き来することができました。

第二部は記念式典。

本布体育振興会会長の15周年を迎え得たことへの謝辞と、今後とも市民スポーツの普及と発展に邁進したい旨の挨拶の後、中村西京体育振興会会長、今城洛西

支所長、菊池自治連合会会長の祝辞が続きました。

功労者表彰では、京都市長の感謝状が布本和久・鈴木晃司・細川和明・船越彰・谷口栄一の各氏に、西京区長の感謝状が山本孝子・

蘭部和栄・小川誠一・倉田容・井出慎太郎の各氏に、また、西京区体育振興会連

合会長の感謝状が尾崎裕之・橋本高明・湯浅雅子・吉田美和子・横江清・中島由雄・戸谷和博の各氏に贈られました。

15年記念として特別に設けられた「地域対抗グラ

ンプリ」の表彰も行われました。(別掲)

第三部は、祝賀。式典に遅れて見えた桂坂在住の榎本市長は、市長感謝状を自らわたされた後、祝賀の開始早々にお祝いの言葉を述べられるや、また次の行事へと駆けつけられたようです。

- 準優勝「二〇七点」
かえて自治会
第3位「二〇五点」
さつき自治会
つばき自治会
第5位「九五点」
しらかば自治会
以下の順位は
6位 くすのき自治会
はなみずき自治会
8位 ぼぶら自治会
9位 けやき自治会
10位 ひいらぎ自治会
11位 あかしあ自治会
12位 きれのき自治会
13位 さくら自治会

何か安全対策、考えてくれないでしょうかね。
K：私、ロータリー辺りの交通渋滞を心配していましたが、それも杞憂だったようで、毎日の買物を楽しんでます。

もなくなりまして…。
G：皆さんに聞いてもほとんどの方が便利になったとおっしゃってます。
C：勤めから帰り、出直して買物に行くのも苦にならなくなりました。
B：自分たちの街に夜遅くまで開いていて何でも揃っている店舗があるその安心感がうれしいです。
L：4月から夜の9時45分まで営業、楽しみです。
M：営業時間も現代の生活様式に配慮されていて、働くものにとって買物時間的制約がなくなり、正直いつて時間的余裕を感じるようになってきました。

N：帰りには、サービスセンターでお願ひすれば、百円でかさばるものも、重いものも配達していただけなので便利。
E：それにマイナスイオン水の提供。家にも機器はあるが今一つ信用できない。コヒー好きの私はこれに決めました。

編集委員口座談

デイリーカーナートイズミヤが 桂坂の地にオープンして

■ やつと現実には

A：入居以来、大勢の人が永いこと待ち望み期待していたショッピングセンター、ようやく桂坂の地に開店しましたね。

B：そんな気持ちの現れでしょうねえ、開店当日は「ここ、桂坂？」と思うほどの賑わいでした。

C：何しろ、やつと不便さから解放される時がきたわけですから。

D：店もないところで今までよう辛抱して来たなあという人もおられます。

E：桂坂に来て一〇年余り一番不便を感じていたのが毎日の食材の調達だったと妻から聞きました。

C：今まで買い忘れたら我慢するか車を飛ばすかの繰り返しでしたもんね。

B：内心、工事中だった本当に開店するんだらうか

ひよつとして中止になるんでは、と心配して見ていた私たちには、待ちに待ったオープンでした。

■ 街に活気が...

■ 「センター前」とは名

F：「センター前」とは名ばかり、銀行と郵便局があるだけで寂しいものでしたけど、絶えていた人の流れ、車の流れなんかもできて、やつと街らしい街になったような気がする、真の桂坂センターという感じがすよね。

G：閑静で人通りの少ない桂坂が活気づいて来たように思います。

H：そう、驚いたのは、桂坂がすごく活気づいたこととです。以前は道を歩いている人も、人に会って話をする人もあまりなかったのに、今はたくさんの人と出会えます。

A：今回の出店で、私たちが住民も散策感覚で買物が可能となり、今後は外出機会も多くなって、街に活気が出てくるんじゃないでしょうか。

B：お住いの地域によって徒歩、自転車、車など、行かれる手段は様々でしょうけど...

J：何よりも車に乗れない小学生、中学生、高校生それぞれにお年寄りだつて歩いて買物にいけるということがいいですね。

I：晴れた日にはぜひ歩いて買物に...。桂坂の自然の折々の息吹が確認できるのもいいですね。

C：私も緑道を散歩しながらイズミヤまで出かけようと思う。車で通つていた道だつて歩くことでいろんな発見や出会いがあるかもしれないね。

■ グランプリ成績

■ 総合優勝「二四〇点」

J：深っていた閉鎖的な桂坂のイメージも段々開放的なイメージに変えてくれるに違いありません。
I：2月に小学校であった防犯教室で、講師のガラスの専門家が桂坂の印象を、「立派で大きな家がたくさんあるけれど、人通りが少ない」とおっしゃっていました。

H：人の流れができるのは防犯の面でも役に立つし下校時の子どもたちの安全面にも大変いいんじゃないでしょうか。

I：実は先日のごとです。中信の裏のところにバイク・自転車の通れる通路があるでしょ。イズミヤから出てくるバイクと直進して駐車場に入る私の車とが、危うくぶつかる場所でした。

G：東の入口も、入場待機の車が本通りにあふれて並んでいると、南行して下りてくる車が見えにくく、事故が起これないか心配です。

D：イズミヤさんの方で、

■ うれしい交流の場
J：住民同士のコミュニケーションシヨンの場が出来、店内で話しこんだり挨拶している人が目立ちます。

B：近所の方とも店でお会い話が弾んだりして、格好のふれあいの場になっているのでしようよ。

D：あの休憩のスペースも結構話し合うのに便利。中に四〇席、暖かい時は



■ 身近に在る店ですから

■ 店内、とても明るく、

L：広くて見やすく、ゆつくり品物を選べるのでとても楽しいですよ。
E：先日、妻と買物に行き男の私でも工夫されているなあと思いました。
M：近場に便利な店ができ、生活時間の面で非常に楽になっていきます。

■ なるほどこれは 「生活便利館」です
A：店のコンセプトによると「地域の生活便利館」と位置つけた食料品を中心に、日々の生活必需品が揃った明るい売り場は、見て廻るだけでも楽しみ。

F：大原野や吉祥院の野菜などが生産者の名前をつけて売られています。
N：皆さんの声を聞いても品物がいろいろ揃っていて良いし、薬局もあるのが便利。野菜、果物も新鮮でよいといわれます。

L：ただ、ケーキや和菓子などのお店をもう少し出してもらったら、せめて有名店も十軒くらいに。
E：一日に三回、料理の実演があり、レシピも自由に取ってくださいという。私も聞きに行つて家のものをびっくりさせてやりたいたいと思いますよ。

A：桂坂のコミュニティゾーンの核としての役割を担いながら...
M：そうですね、今後は桂坂地区の中心のお店としてお客が満足できる、楽しくて明るいイメージを持ち続けたお店であつてほしいと切に願います。

E：私たちも大いに応援しますから。